

2015年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修 実践編:災害支援 報告

開催日時 2015年8月29日(土)10時~16時

会場 慶應義塾大学信濃町キャンパス 孝養舎 2階202教室

参加者数 24名(会員16名、非会員8名) 運営担当 災害検討支援委員会

テーマ:災害から高齢者の命と生活を守るために~老年看護ネットワークづくり~(第2回)

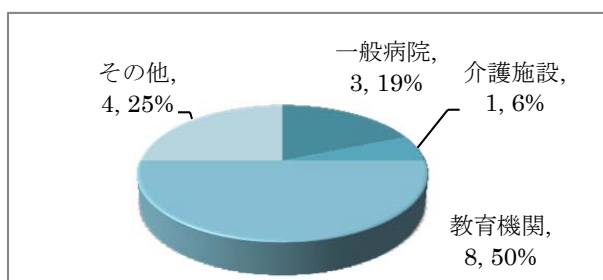
講師:神崎初美氏(兵庫医療大学看護学部 教授)

内容:災害時における看護支援の基礎知識、被災高齢者のケアに関する基礎知識
ワークショップ(グループワーク):支援と受援の仕組み作り

アンケート結果(回収数16)

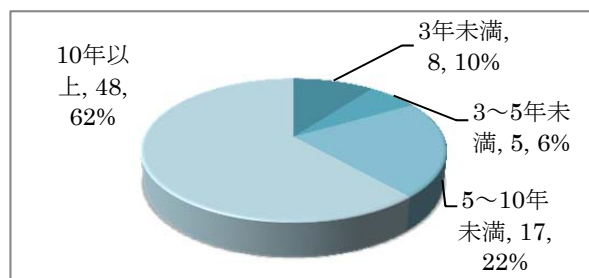
1.参加者の概要

1)現在の勤務先



・その他:在宅介護支援センター、社会福祉協議会

2)看護師経験年数(教員の場合は教員経験年数)



3)研修会を知ったきっかけ(複数回答)

学会HP(8)、学会メール(3)、学会ニュースレター(1)、上司の紹介(1)、その他:認知症ケア学会誌、GCNSメール

4)受講動機(複数回答)

テーマに関心があった(15)、知識や技術を身につけたかった(6)、老年看護の実践的な内容を学びたかった(6)、上司の勧め(3)、会場がアクセスしやすかった(3)、知人の勧め(1)、

2.研修会について

1)研修は期待通りであったか

期待通り 13(81.3%)、まあ期待通り 3(18.8%)

・実際の支援について、具体的でありわかりやすかった(会員・一般病院)

・基礎知識は既知のことがとても多かった。話の内容が多く、1日とするには難しいと思った

2)老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要 14(87.5%)、まあ必要 2(12.5%)

3)今後の老年看護学会主催研修会への参加について

とても参加したい 10(62.5%)、まあ参加したい 6(37.5%)

4)感想・要望

・当初は場違いかと思ったが、看護師の職場の広がりを感じつつ、内容は非常に濃く、資料もあって大変感謝している(非会員・介護施設)

・学校・施設での災害マニュアル作りの参考にしたい。横のつながりを持てるようにしていこうと思った

・新しい知識、実践に役立つ知識が得られた。ネットワークを作ることができた。

・看護と介護の垣根はまだまだ高い。一人一人を前にして共働して支援できるような努力が必要と思った。

研修のPRを介護分野にも届けてほしい(非会員・在宅介護支援センター)

5)今後取り上げてほしいテーマ

認知症介護家族の支援、健康支援・ウェルネスの視点の老年看護、発達障害を持つ高齢者の看護、災害支援の次のステップ

今年度で2回目の災害支援研修となりました。講師の神崎先生には、災害看護の基礎知識と共に、支援と受援のための備えについて多くのことを教えていただきました。災害支援検討委員会からは、委員会で作成した「大規模自然災害時の高齢者支援ガイド」を元に具体的な支援について紹介しました。午後のワークショップでは、自組織の受援・支援の課題、リーダーシップ、具体的なアクションについてグループで話し合い、日頃の災害の備えにつなげられるようにしました。今後も災害支援研修を継続的に実施していきたいと考えています。

(災害支援検討委員会 生涯学習支援研修 実践編担当)

2015 年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修 実践編(災害支援) アンケート集計結果

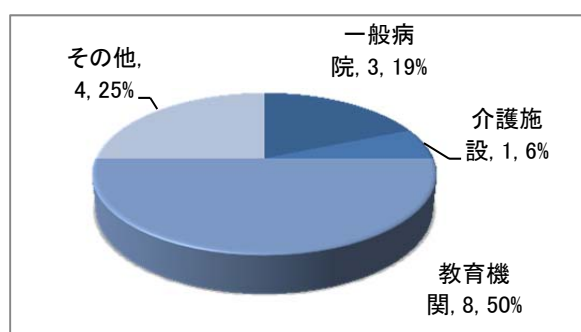
- ◆参加者数 会員：8名 非会員：5名
運営スタッフ 委員：8名 運営協力員：3名（うち院生アルバイト2名）
- ◆アンケート回答数：16

I. 回答者の概要と研修開催に対する意見

1. 回答者の入会状況

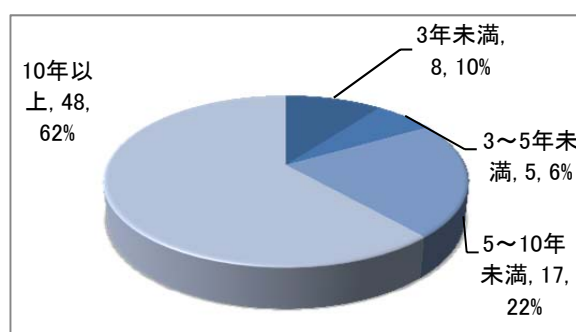
会員 10、非会員 6

2. 現在の勤務先



・その他：在宅介護支援センター(1)

3. 看護師経験年数(教員の場合は教員経験年数)



4. 今回の研修をどのように知ったか(複数回答)

ポスター (0)、学会 HP (8)、学会メール (3)、学会ニュースレター (1)、上司の紹介 (1)、同僚の紹介 (0)、学会関係者紹介・FAX (0)、その他(1)：認知症ケア学会誌、GCNS メール

- 5. 開催時期について 良い 16 (100%)
- 6. 開催場所 良い 16 (100%)
- 7. 開催時間 良い 15 (100%)、無回答 1

8. 受講動機について(複数回答)

テーマに関心があった (15)、知識や技術を身につけたかった (6)、老年看護の実践的な内容を学びたかった (6)、講師に関心があった (0)、上司の勧め (3)、知人の勧め (1)、会場がアクセスしやすかった (3) 参加費が安かった・何となく・その他 (0)

9. 会費について

ちょうど良い 13 (81.3%)、もっと高くても良い 1 (6.3%)、もっと安くしてほしい 2 (12.5%)
 ・1日研修でお弁当があれば、今より 1,000 円高くても良いと思う (非会員・教育機関)
 ・3,000 円でこれだけ学習できて大満足 (会員・教育機関)

Ⅱ. 研修会内容の評価と生涯学習支援・研修参加希望について

1. 研修会のテーマについて

非常に興味がある 12 (75.0%)、まあ興味がある 4 (25.0%)

- ・様々な災害が起きているにもかかわらず、どこか他人事のように思っているところがあるのが災害看護だと思う。日頃の看護を見直す良いテーマだと思う。(会員・一般病院)

2. 研修会は期待通りであったか

期待通り 13 (81.3%)、まあ期待通り 3 (18.8%)

- ・基礎知識は既知のことがとても多かった。話の内容が多く、1日でするには少々難しいのではと思った(会員・教育機関)
- ・実際の支援について、具体的に説明してもらったのでとてもわかりやすかった(会員・一般病院)
- ・具体的な講義で、後半グループワークでは本当に沢山のことを学ぶことが出来た(会員・教育機関)

3. 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要 14 (87.5%)、まあ必要 2 (12.5%)

4. 今後も本学会の研修会に参加したいか

とても参加したい 10 (62.5%)、まあ参加したい 6 (37.5%)

- ・老年看護について学びを深めていきたい。研修の企画はありがたい。(会員・教育機関)

Ⅲ. 今後研修会として取り上げてほしいテーマ、老年看護学会への要望

○認知症ケア関連

- ・認知症介護家族の支援：本人がサービスを拒否する場合、家族会を紹介する以外に、どういったことをすると介護負担の軽減につなげることができるのかについて(会員・一般病院)

○多職種連携関連

- ・看護と介護の垣根はまだ高いのは当然。専門知識の違いがあるわけだが、一人一人を前にして共働して支援できるような努力が必要と思った。研修のPRを介護分野にも届けてほしい(非会員・在宅介護支援センター)

○災害支援関連

- ・災害のことは、次のステップをまたお願いしたい(会員・教育機関)

○その他

- ・健康支援、ウェルネスの視点の老年看護、発達障害を持つ高齢者の看護：高齢者への発達障害支援について知りたい(非会員・教育機関)

Ⅳ. その他、自由意見

- ・当初は場違いかと思ったが、看護師の職場の広がりを感じつつ、内容は非常に濃く、資料もあって大変感謝している(非会員・介護施設)
- ・研修内容をHPに大きく取り上げてほしい(災害に限らず)。内容がイメージしやすく、研修に参加しやすくなると思う。(会員・教育機関)
- ・学校・施設での災害マニュアル作りの参考にしたい。横のつながりを持てるようにしていこうと思った。(非会員・教育機関)

- ・新しい知識、実践に役立つ知識が得られた。ネットワークを作ることができた。(会員・教育機関)